

オウム真理教の本部があった上九一色村で 最も果敢に闘った記録

オウム反対抗議集会／第12回抗議デモ・学習会

6月17日(土)

解散しないオウムに対して、我々は怒りの声を上げよう!

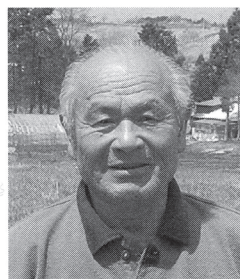
- 抗議デモ PM 2:00 烏山区民センター広場集合
- 学習会 PM 3:30 烏山区民センターホール

講演

「オウム真理教との闘争の原点、上九一色村の闘い」

烏山地域オウム
真理教(現アレフ)
対策住民協議会

3月27日、オウム真理教の元教祖、松本智津夫(麻原彰晃)は東京高裁で控訴棄却され、死刑の可能性が高くなった。その松本智津夫が、のどかな牧草地だった上九一色村を恐怖の村に変貌させ、その中で何をやってきたのか。松本智津夫の人物像、恐怖の支配を明らかにしながら、教祖に従属した信者の実態とは。松本、地下鉄サリン事件で使用したサリンを製造した工場は。対策委員会副委員長として、オウム真理教と体を張って闘った本人が、松本智津夫が裁判で語らない宗教団体とはかけ離れた真実のオウム真理教の実態を改めて明らかにする。



講師 竹内精一氏 (元上九一色村富士ヶ嶺オウム真理教対策委員会 副委員長)

〔プロフィール〕

1928年 山梨県精進に生まれる。

43年 国民学校卒業、満蒙開拓青少年義勇軍に入る。

45年8月 北満州で17歳以上の男子召集され黒龍江省孫呉の軍隊に入隊。

8月19日 敗戦により捕虜となる。

1949年9月 帰国、現在地に入植。

この間 農業委員 15年、農協組合長 13年、

村議会議員 7年、オウム対策委員会代表委員 7年。

現 富士河口湖町 農業委員。

山梨県満蒙殉職者慰霊奉賛会事務局長。

日中友好協会 山梨支部副支部長。

「あなたの不幸の原因は、先祖の悪因縁・タタリです。先生は絶対の霊能者ですから、あなたの霊障をただちに取り除いて、幸福に導いて下さいます」という具合。病苦の家族を救えたり、地獄にいる先祖を救えるとなれば、さらに期待を持ってしまいます。

祈禱(きとう)・治療をしてくれる

たとえば、「この汚れた世界は、いま戦争や飢餓、環境汚染で滅びに向かっている。教えを信じれば救われ、そうでない人は全て滅び、永遠の地獄におちる」というように不安感をかきたてます。教えにしたがえば人も救えると言いつつ、使命感も出て更に魅力的です。

終末を予言する

青少年のみなさんへ
No.3

カルト集団から
身を守るために

こんな言葉は危です

使命感を与えてくれる

「このままでは日本は滅亡する！核ミサイルがとんでくる！地獄におちる！バチがあたる!!」日本を救うために、会員を集める、君たちの使命である!」というように、生きる意義を与えてくれます。



本当の自分がお手軽に

「自分を変えてみませんか?」「3日間だけだから簡単」などと、気軽に誘います。お手軽に人生を変えられるなら、魅力です。でもそんな特効薬はないし、突然変わった人生は、他に迷惑をかけ、勧誘しつくして友人をなくすことが多いもの。
(日本脱カルト協会発行のパンフレットから)

取材 上九一色村はいま～！ 4月17日（日）

10年前の地下鉄サリン事件は、日本最大級規模のテロ事件といわれています。11年目を迎えた今日でも、忘れる事の出来ないオウム真理教の行った無差別殺人行為です。何の意味も無く亡くなった12人の人々、未だに後遺症に苦しむ5,500人以上の人々、二次被害を含めると6,000人以上ともいわれています。

今回、その原点となっている山梨県上九一色村のオウム真理教施設跡地を訪れてみました。そこは近くに綺麗な富士山を背景に広々とした平野になっていました。何の跡形もなく、ただ広がる平野のどこにあの忌まわしいサリン製造の施設があったのかと目を疑います。

ただ一つ残る第一サテアン跡の公園には鎮魂の碑がぼつんと建っています。近くにある、かつてオウム反対運動で闘った竹内氏住居には、当時のまま反対運動の立て看板や横断板が放置されていました。沢山の写真や当時の闘争記録などを見せていただき、やっと記憶を呼び戻すことが出来たくらいです。

しかし平成17年から、市町村合併で上九一色村が富士河口湖町となりました。私たちが忘れることなく、記憶にとどめ、風化させない努力をして行くことが、被害に会われた人々へのせめてもの行為であり、義務です。ひいては、オウム真理教解体・解散へつながるものと確信して帰ってきました。

監視当番を行って～給田小学校 PTA

日頃より、オウム反対運動にご尽力いただき、地域の小学校のPTA会長として、深く感謝申し上げます。あのオウムが烏山にやってきた！と聞いたときの驚きは今でも忘れません。毎日のように烏山の町がテレビに映し出され、本当に恐ろしく思いました。それから5年が過ぎ、地下鉄サリン事件からは11年が経ちました。日々、次々と新しい事件が起きる中、少しずつ「オウム」のことが忘れられているような気がいたします。

給田小学校では、烏山中学校、武蔵丘小学校、烏山北小学校からは少し遅れましたが、2年前から、オウム監視当番をしております。毎回、違う人が監視当番をするということ、また監視当番をして感じたことを、PTA運営委員会にて一言発表していただくというのを続けています。

実際に当番をやってみるにより、「やっぱり怖い」「継続していくべき」という感想や意見が多く出されます。その感想を、運営委員会だよりに掲載し、全家庭に配布されることで、オウムに対する問題意識が、風化してしまわないようにと願っています。

微力ではありますが、町会・自治会の皆様、そして他校

のPTAとともに、地域の子供たちを守るPTA活動として、監視当番を続けていきたいと思っています。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。運営委員会で発言された、一言感想を添付いたします。給田小学校前PTA会長 清水啓子

●4月19日：警察の方がいらしたので、緊張はしませんでした。初めはテレビでしか見たことがなかったオウムの人の様子に息を飲みました。目を合わせないようにしていましたが、会釈されました。とにかく、臭いがして近所の方は毎日大変だと思いました。

●10月6日：人の出入りが異常に多かったです。怖かったのは、出かけていく信者が普通の格好で一般の人と区別できないことです。見ていると信者なのだとわかってきました。何をしているのだろうと不安になりました。

●2月8日：監視活動が充実しているなという印象を受けました。これは続けていかなければいけないという思いで行っているのだなと思いました。いろいろなオウムの情報を聞き、心配でした。昨日は何事でもありませんでしたが、続けることが大事だなと思いました。

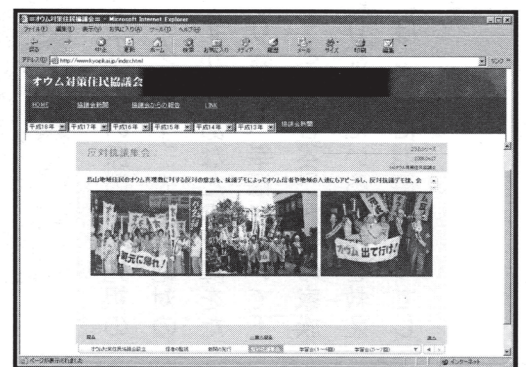
(沢山いただいた感想の中より抜粋)

ホームページをリニューアル

開設以来、永い間ご覧いただきました協議会のホームページを4月にリニューアルしました。多くの皆様から協議会ニュースだけの掲載では活動の内容がわからないという声が聞かれました。

今回改善したところは協議会の発足から活動の内容を写真も含め掲載しました。又、協議会の毎月の活動内容や協議会ニュースも通常のWebページ形式にし、見やすくしま

した。毎月改訂していきますので是非ご覧ください。



住民協議会活動報告

4月 20日（木）	実行委員会	5月 12日（金）	事務局会議
4月 25日（火）	小学校5ブロックPTA会長・副会長会で学習会のお願い	5月 15日（月）	協議会ニュース56号再校正
5月 8日（月）	協議会ニュース56号初校正	5月 19日（木）	住民協議会
		5月 22日（月）	協議会ニュース56号発行

協議会ホームページアドレス <http://www.kyogikai.jp>

この協議会ニュースは、皆様の募金により発行されています。